

(別記様式第 15 号)

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

高森町

| No. | 事業項目 | 事業名 |
|-------------------------------------|-----------------|---------------|
| | みんなの暮らしを守る森林づくり | 段丘林整備事業（竹等伐採） |
| 事業費 1,067,000 円 (うち支援金 : 649,000 円) | | |

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

住民生活の周りに存在する森林(里山)の多くは整備されないまま放置されている。林業を生業(なりわい)とする者も少なく、未整備森林は通学路の影地問題や有害鳥獣等の課題となっている。また、竹の繁殖により森林は竹林化し、防災等の面で安全性が危惧されている。

(2) 本事業の目的

竹等を伐採し防災減災に寄与するとともに、有害鳥獣駆除対策の一策とする。伐採後の山林は広葉樹を植樹するとともに、本来森林の持つ多面的機能の回復と有効活用を図る。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 ・町内の町有林、区有林、私有林

(2) 対象者 ・町民

(3) 実施方法 ・業者による竹の伐採・破砕、高木(危険木)の伐採

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画(平成 30 年度～令和 4 年度) ・町内段丘林(里山)の整備 規模 0.5ha/年

②令和 3 年度実績 ・下市田羽根坂 0.10ha

Before



After



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

防災減災、景観、有害鳥獣駆除対策や防犯対策に効果が図られる。生活に身近な里山の整備により、森林保全、育成に対する町民意識の高揚に繋がる。

(2) 継続性

整備された山林の適正な維持管理により、継続的な事業効果が見込まれる。

(3) 普及性

有害鳥獣対策においては、今や動物たちが里へ行動範囲を広げ農作物等への被害が拡大しているので、竹林(森林・里山)の整備による被害の減少は大きな効果である。防災減災面での整備は、住民の安心に繋がり、美しい景観や適正な環境形成にも繋がる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

- ・竹等の伐採により有害鳥獣駆除の対策が図られたとともに、通学路の影地解消、不法投棄の抑制など地域住民の安心に繋がった。
- ・竹等の伐採により景観的に明るく見通しが良くなったことは、今後の竹林等整備に対し住民意識の向上に繋がった。

(2) 課題

- ・伐採後の竹林は、綺麗な状態を保つために数年間は継続的な維持管理作業が必要である。行政、地域が協力し適正な維持管理が持続できるか。
- ・竹の伐採・破碎にはかなりの手間が掛る。所有者だけでは、はかどらないので地域住民などによる組織的な協力が必要である。業者委託の場合は多額の費用が掛かる。
- ・竹の伐採は、その後の維持管理を考えると破碎まで行う方がより効果的であるが、傾斜地では竹の搬出などかなり手間がかかるので、費用対効果の面も含め整備方法の検討が必要。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

- ・高森町を形成する段丘林は町の宝である。森林機能の回復、防災減災、環境整備、有害鳥獣対策、住民生活への安心感の向上など、竹の伐採など段丘林の整備を今後も継続的に実施していく。専ら急傾斜地での事業実施が予想されるので、整備費用の確保、伐採後の維持管理の仕組み、体制づくりなど、段丘林の整備に向けてより効果的、効率的な実施の実現を図る。

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)